

委員会 レポート

議案をより深く審査するため、必要な書類、資料を求め、2つの所属委員会に分かれ、担当課へ質疑しました。

総務民生委員会

委員長：浦崎みゆき 副委員長：金城好春
委員：新垣由雄・大城勝・大宜見洋文
照屋仁士・赤嶺奈津江・大城毅

ファミリーサポートの課題は

問 社会福祉協議会にはファミリーサポートセンター等の相互扶助活動がある。しかし、サポート会員が少ない。課題は何か

答 町は仲介する事が主で、サポート事業自体は個人間契約となる。そのため、提供する側に責任が重くのし掛かる。サービス提供を断念する要因のひとつとなっていると考える。

ファミリーサポートセンター
889-3327

①ファミリーサポートセンター利用実績

	H22	H23	H24	H25	総数
利用件数	396	600	738	1,162	2,896

②会員数(平成26年8月末 現在)

おねがい会員	202人
サポート会員	74人
どっちも会員	41人
計	317人

③主な活動内容

1. 保護者の短時間・臨時的就労の場合の援助
2. 保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり
3. 学童保育の迎え及び帰宅後の預かり
4. その他



東部消防出初式

消防行政との連携を

問 消防行政と町の防災行政の境目にあいまいな部分がある。棲み分けはどうか。いるか。

答 消防は防火と救急が主であり、その他の部分を町行政が担うことになる。棲み分けを明確にしていく。

問 防災行政は今後どう取り組むか。

答 自主防災組織立ち上げに向けて取り組みたい。また、東部消防組合と密に連携をとっていききたい。

災害時の支援システムは

問 「災害時要支援者支援システム」とはどのような仕組みか。

答 災害時に障がい者等を避難誘導するシステムである。必要な名簿(台帳)作成と地図(マッピング)作成を行っている。

問 対象者を把握しているか。

答 災害時には民生委員や社会福祉協議会へ名簿の情報提供が可能である。しかし、平時には本人同意がないと個人情報保護の観点から提供できない。すべての対象者の名簿登録は完了しておらず、名簿作成に取り組んでいる。

